

## 4. 鳥類調査結果の概要

#### 4. 鳥類調査結果の概要

##### (1) 分布状況から見た河川環境の特徴 (資料 II.4.1)

今回とりまとめを行った 26 水系 29 河川で確認された鳥類は、19 目 53 科 274 種であった。確認種数の多かった河川は、東北地方の米代川で 163 種、中部地方の天竜川で 141 種、関東地方の利根川（常陸利根川）138 種、北海道地方の天塩川で 137 種でした。

##### (2) 特定種一覧 (資料 II.4.2)

今回とりまとめを行った 29 河川で確認された特定種は、レッドリスト絶滅危惧 IA 類に指定されているクロツラヘラサギとコシャクシギなど 39 種でした。特定種の確認された種数が多かった河川としては、東北地方の米代川の 17 種、中部地方の天竜川の 14 種、北海道地方の天塩川と九州地方の筑後川の 13 種等でした。

###### (注) 特定種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を特定種としました。

- ・ 「文化財保護法」の特別天然記念物および天然記念物
- ・ 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種及び緊急指定種
- ・ 環境省（庁）編「レッドリスト」掲載種（1998）

##### (3) 外来種一覧 (資料 II.4.3)

今回とりまとめを行った 29 河川で確認された外来種は、カワラバトのほかコジュケイ、ベニスズメ、セキセイインコ、ハッカチョウなど 15 種でした。

###### (注) 外来種の選定基準について

本資料における外来種とは、おおそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物全てを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、困難な種があるため選定の際に考慮していません。また、外来種の選定には、資料 I. 5(44～45 ページ)に掲載した文献と学識者による意見を参考に行っています。

##### (4) ミサゴとオオタカの確認された地域 (資料 II.4.4 (1/2))

確認状況の概要は 9～10 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 113～114 ページに掲載されています。

##### (5) カワウの確認された地域 (資料 II.4.4 (3))

確認状況の概要は 10 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 115 ページに掲載されています。

##### (6) カワセミとヤマセミの確認された地域 (資料 II.4.4 (4/5))

確認状況の概要は 10 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 116～117 ページに掲載されています。

(7) カワガラスの確認された地域 (資料 II.4.4 (6))

確認状況の概要は 11 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 118 ページに掲載されています。

(8) オオヨシキリの確認された地域 (資料 II.4.4 (7))

確認状況の概要は 11 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 119 ページに掲載されています。

(9) ハマシギの確認された地域 (資料 II.4.4 (8))

確認状況の概要は 11 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 120 ページに掲載されています。

(10) コアジサシの確認された地域 (資料 II.4.4 (9))

確認状況の概要は 12 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 121 ページに掲載されています。

(11) 鳥類の繁殖状況 (資料 II.4.5)

確認状況の概要は、12 ページに、また繁殖行動の確認状況は 122～123 ページに掲載されています。

(12) ミサゴ、オオタカ、カワウ、カワセミ、ヤマセミ、カワガラス、オオヨシキリ、ハマシギ、コアジサシの確認状況の経年比較 (資料 II.4.6)

確認状況の概要は、9～12 ページに、これら選定項目の河川ごとの経年確認状況についての比較表は 124 ページに掲載されています。